

大型木造医院・新柏クリニック建設へのこだわり
燃エンウッドにたどり着いたわけ



新柏クリニック 前理事長 木村 靖夫

建築場所





旧クリニック



旧クリニックの内部

建て替の背景と経緯 その1

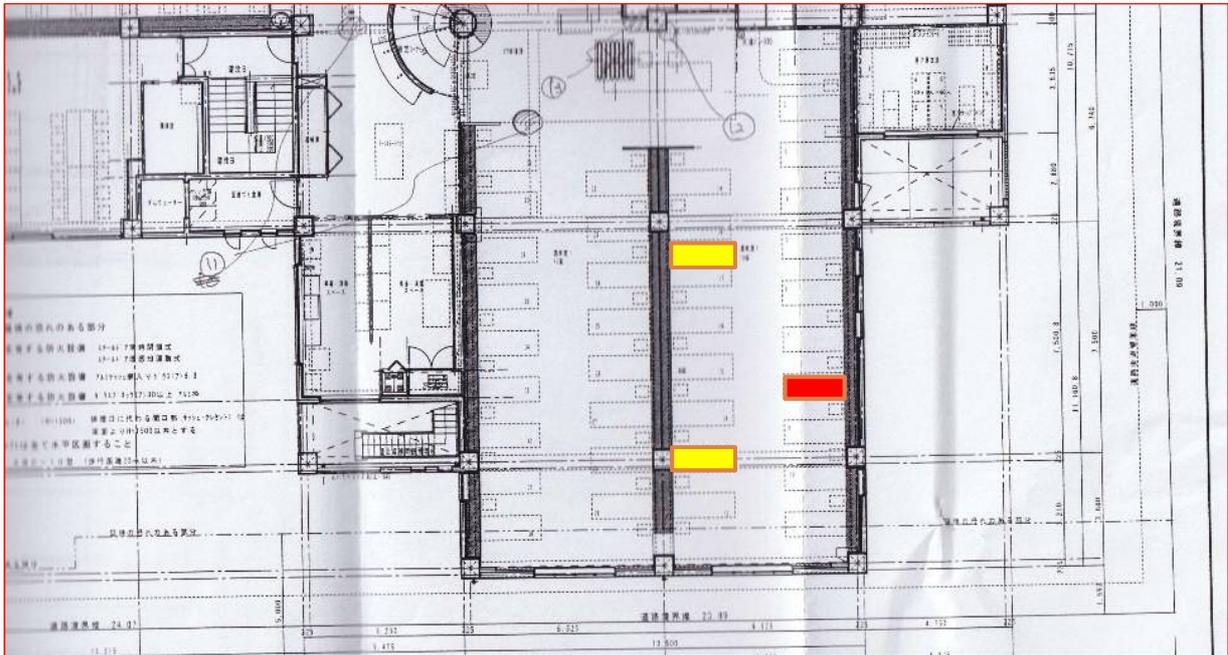
- 平成2年開業の透析医療を主にした無床診療所
(透析患者数:約300名)
- 漠然とそろそろリニューアル、建て替えの時期かな

4

その2

- 百日ぜきがグループ発生した
- 将来、新型インフルエンザ流行時等への不安
- 透析施設の見学(福岡、神戸、関東近県)

5



ベッド間が向かい合わせで発症した?百

見学例

- 1、ベッドが向かい合っていない施設

ベッドが向かい合っていない透析室



ベッドが向かい合っていない透析室



見学例

- 2、個室透析例

10



その1



その2



その2



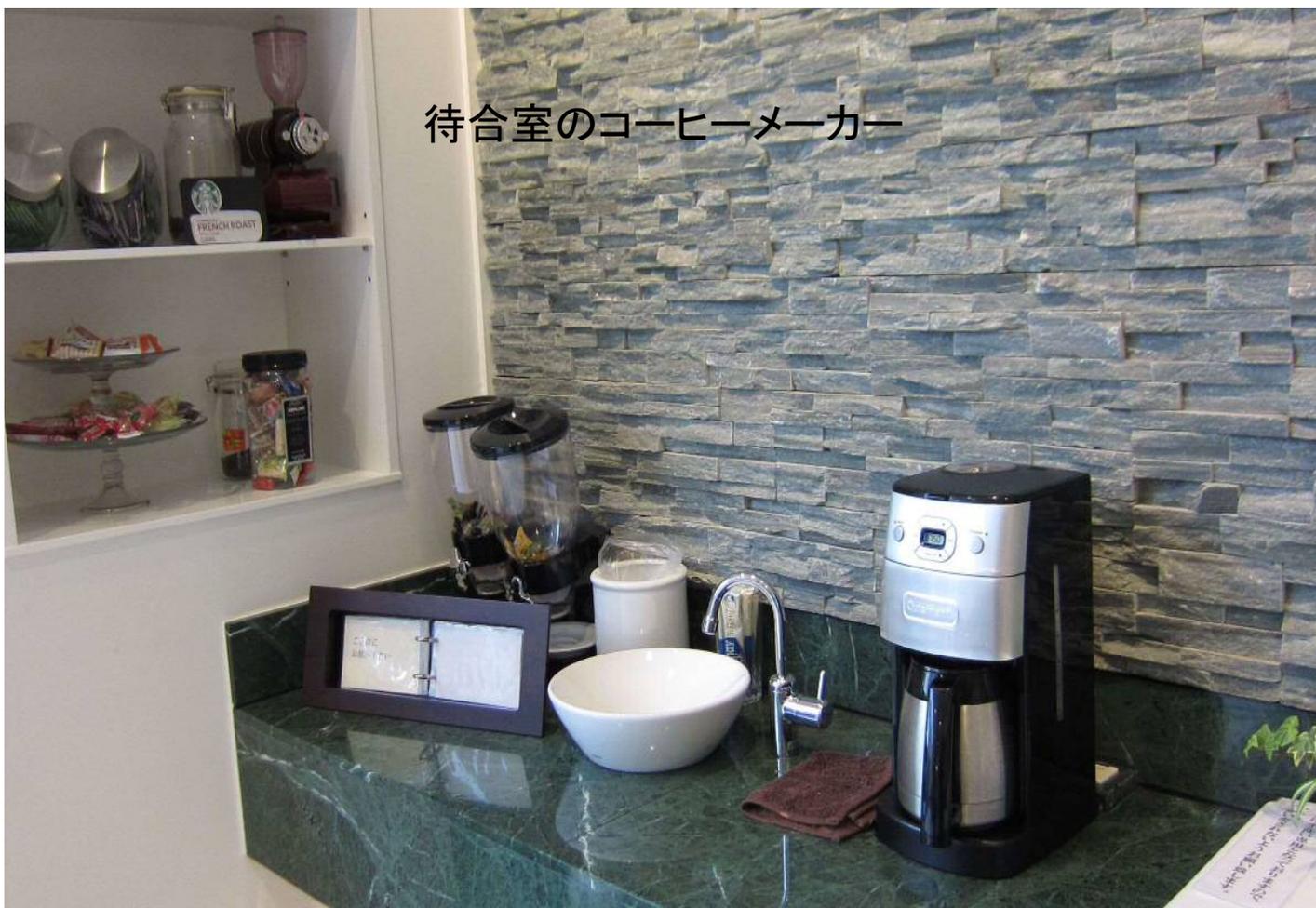
見学例

- 3、待合室など工夫を凝らした例

待合室に暖炉



待合室のコーヒーマーカー





見学例

- 知人の建て替え移転した病院の透析室(35ベッド)



施設の見学から見えてきた方向性

- 1、ベッド間距離が広い
- 2、ベッドが向かい合わない
- 3、個室透析
- 4、工夫をこらした待合室周り

この病院の見学前にRC構造3階建の建築契約



契約した会社が設計した病院の透析室
先ほど最後の見学例

22



H20年建築の当院分院とテイストが変
23

このまま建築計画を進めていいの

- もっと患者さんがゆったり安心してすごせる空間があるのではないか
- インパクトがあって他施設と差別化できる仕掛けは？

迷いに迷っていた時

- ある日の午後7時30分、国谷さんのクローズアップ現代「木質系大規模建築特集」の中で燃エンウッドが出てきました。その木質系の圧倒的、開放的なスケール感、これしかないとひらめいた

24

全ての契約を白紙に戻した

- 年寄りのわがままを通させていただきました

25

厚かましくも燃エンウッドの会社をお願いした

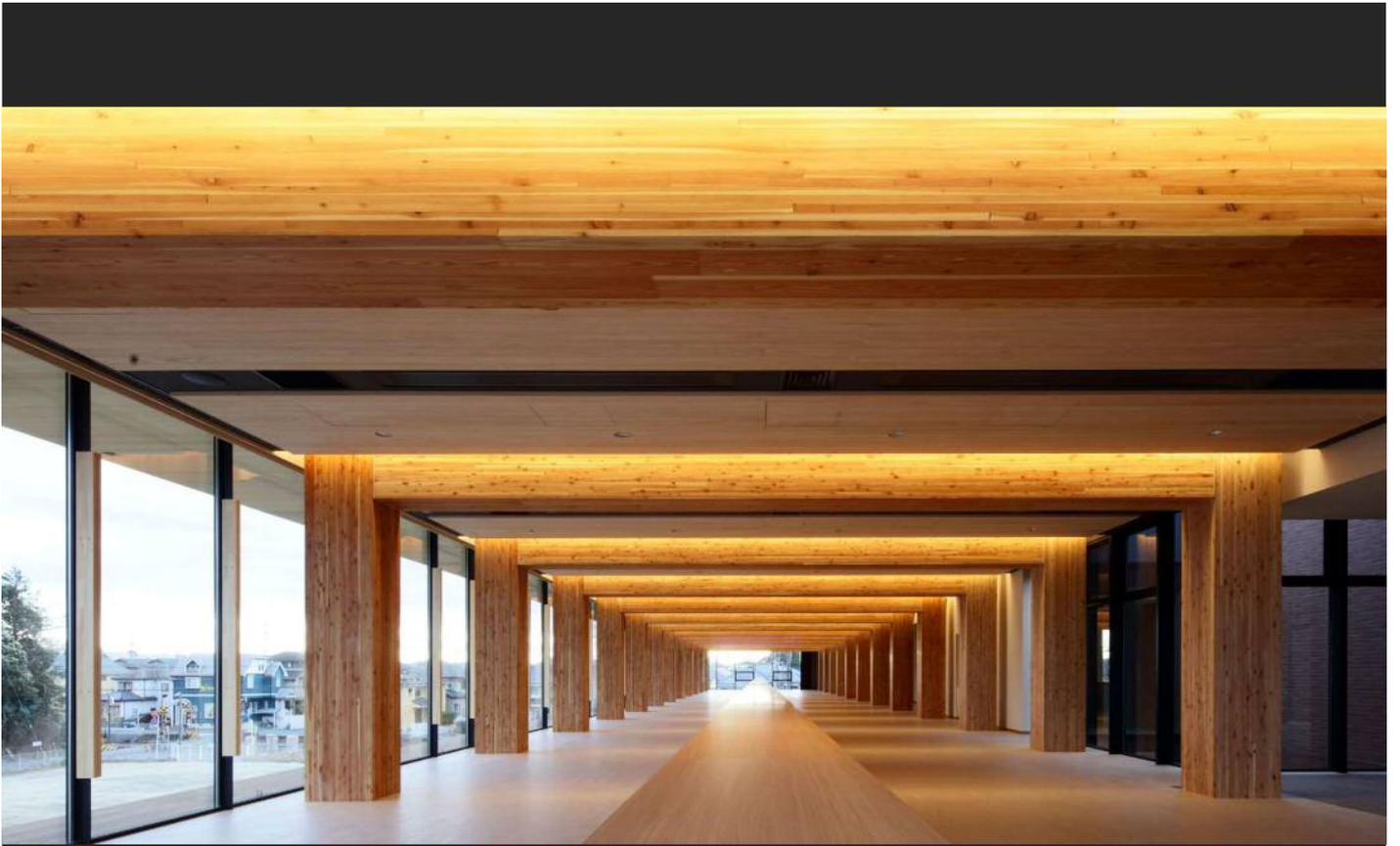
大手ゼネコンに気が引けました

- ① 圧倒的な木の空間に浸れる透析施設
(森林浴のできる透析室)
- ② ベッド間距離を1m以上
- ③ ベッドが向かい合わない
- ④ 一部に当院なりの個室感のある空間
- ⑤ 癒される待合室

26

そしたらこんな空間になった

27



東西60mの圧倒的な木の空間



大黒柱がいっぱいの森林浴のできる透析室 29

旧クリニック

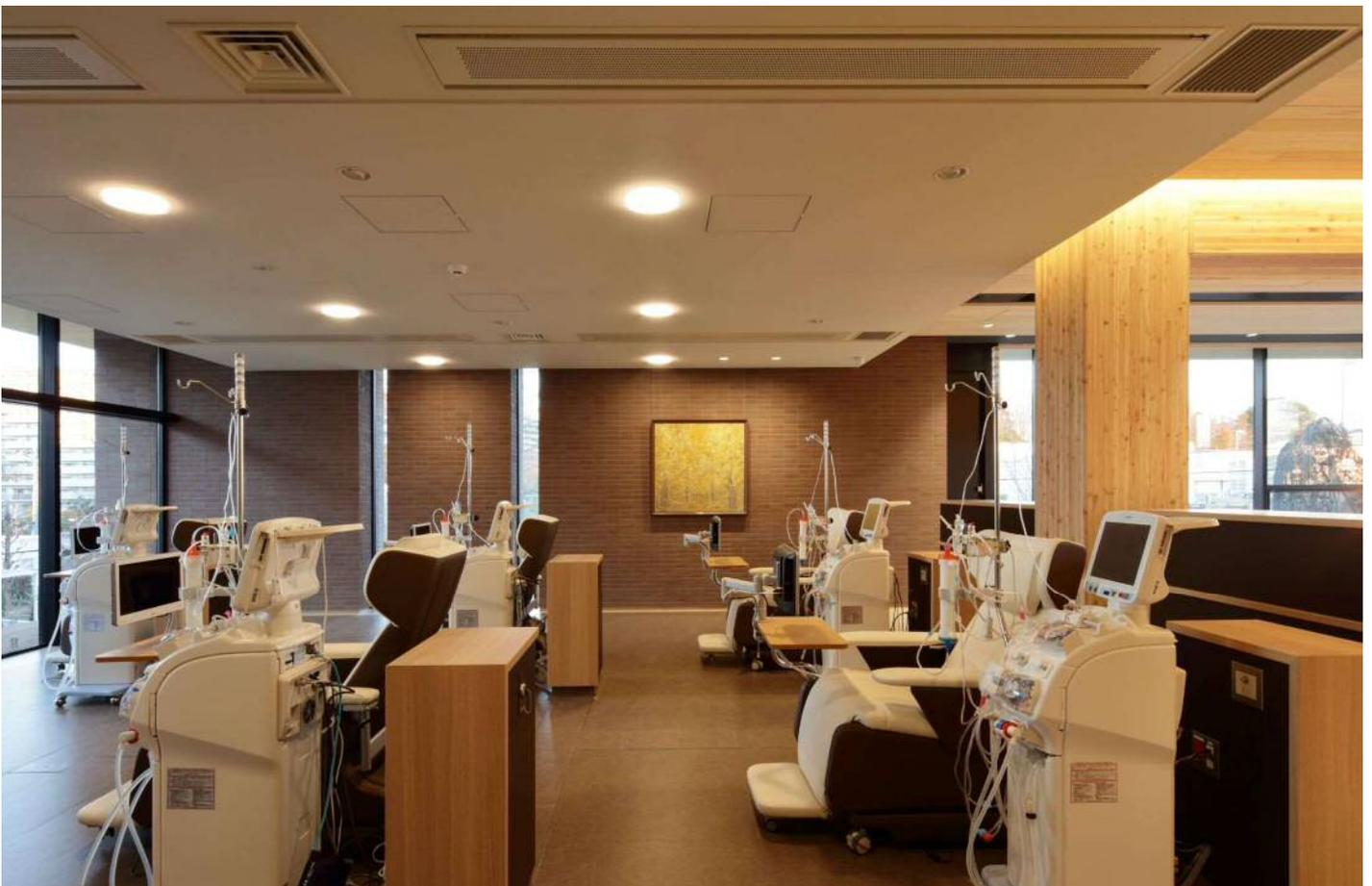


▼2016年2月1日 移転 転回診時に車椅子では入れない

新クリニック



吉松アミダの間にユカフ



- ・窓が大きく開放的
- ・木のぬくもりと香りが感じられる
- ・ベッド向き合わなく、間隔が広い

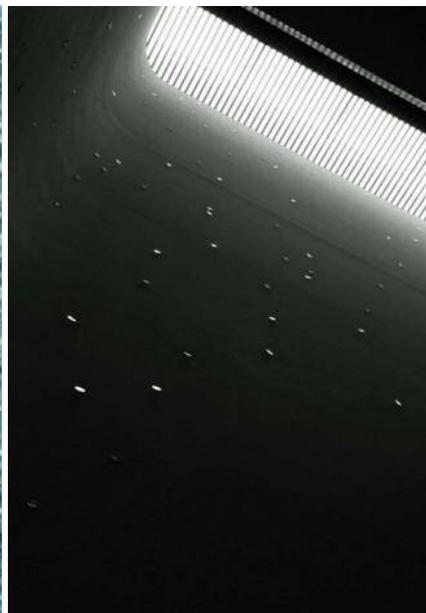


32

待合室付近のこだわりは



森の緑をうつしこむ「たゆむ水」



待ち合室脇の階段「ふりそそぐ光」



待合室は「湧き出る水」

木質系医療施設のもたらしたもの

【患者が感じる魅力】

通院・治療に対する陰性気分を下げる効果

(アンケート調査結果:2016年透析医学会発表)

【施設としての魅力】

他施設との差別化・アピール度向上の効果

34

患者さんの生の声は

- こんな空間で透析をさせてもらってありがとう
- 透析をするならここしかない
- 献腎移植の順番を待っている方：ここにいると移植をしなくてもいいと思うようになる
- 季節を感じられて楽しい
- お日様の暖かさを感じてうっとり

35

患者さんの満足度以外はどうなった？

- 1、看護師の応募が増え求人広告を出さなくてよくなった。

ホームページを見て見学に訪れ実物の方が感動的との感想
(作者はマガジンハウスのHPをつくった)

- 2、患者さん増につながった。

透析室の木質系空間の心地よさ、太陽光だけでの暖かさに感動され
転院希望が多くなった。

系列以外からの来院

36



2月21日 3階からの風景

37



新柏の森計画進行中

